

まちのきこり人育成講座

森の歩道作りと植樹体験活動報告

作成 辻 則行

2010 年 9 月 7 日(火)

1. 開催場所 : 向井 F 1 (亀山市関町加太向井)
2. 開催日 : 2010 年 9 月 5 日 (日) 午前 8 : 30 ~ 15 : 00
3. 参加者 会員 : 瀧口夫妻、岡島、松永、辻 (敬称略 順不同)
一般受講生 : 3 名 (南条、田中、杉本 敬称略 順不同)
4. 内容
 - 1) 9 月 4 日にノコギリ間伐してもらった場所に、ドングリの苗を持ち込み植樹を行った。
ドングリの苗は昨年秋、三重銀行とともにまなびの森で植えた竹ポット苗を持ち込み、
植樹後 鹿害予防にネットを巻いた。
受講生から今回の植樹について意見を聞いたところ
「竹ポットはそのまま植えて竹は土にかえるので手間がいない」
「孟宗竹だと太いので、真竹のポットの方が持ち運びにいいかも」
「竹林整備で伐採した竹を利用するには自然環境に配慮している」
その他、土ポットよりは水持ちがいいなど利点・欠点を意見交換した。
 - 2) 午後からは、植樹した場所から林道登り口にかけて、歩道の整備を行った。
受講生はそれぞれ唐鍬を持って間隔をあけて歩道を下りながら整備を行った。
ここでも歩道を整備するのは初めてだったので、大変な作業だという感想があった。
 - 6) 今回も、受講者 3 名と少数だったので、今後の課題かと思われる。
 - 7) 次回 (明日 9 / 12) は、チェーンソーを使って間伐作業を体験してもらう予定。

5. 活動の写真

